

# 政府・当局の報復的 不当処分策動を粉碎しよう!

## 日刊 動労千葉

79.12.24  
No. 307

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)  
鉄道二二五八・九(公衆電話三三二七二〇七)

### 才一回支部代、断固闘いぬく方針を決定。(12/22)

動労千葉は12月22日、才一回支部代表者会議を開催し、才三回定期大会で確認した「35万人体制攻撃粉碎と結合した三里塚ジェット闘争を水路に、80年代を闘いぬげる自前の労働運動」の確立へ向け、当面する10・22と11・1ストライキをはじめとする動労千葉の闘いに対する不当処分攻撃粉碎の闘いを断固闘いぬぐ具体的取り組みについて着場一致で確認した。

### 長期減産と非協力闘争を中心し、28日より

- 才一回支部代表者会議は、12月27日に想定される不当処分への通告に対して
- (1)、12月28日零時〜30日24時の減産闘争(B.行動)
  - (2)、12月28日からの長期非協力闘争
  - (3)、12月28日に各支部から結集して集団抗議交渉
  - (4)、一九八〇年団結旗幟を起点に内房線を中心とする線路状態の悪化等と結合した不当処分粉碎・才二波闘争として、戦術を強化し、年末ギリギリに不当処分を通告すること、これを通過し、ゆいゆいの闘争の爆発を回避しようとする当局の狙いを粉碎し、同時に、船橋事故闘争、外房線を中心し連日二〇〇〇分の列車遅延を現出した反合・運転保安闘争の路線を引き継ぐ才二波、運転保安闘争の突破口を切り拓いてゆく。

の四点を骨旨とする本部からの方針提起を、活発な討論を経て全体で確認した。

### 処分を必死で煽る本部反動集団

政府・国鉄当局が、当面する年末・年始輸送をはじめ要員不足という恒常的弱点を持ちつつも、この時点で「年内」通告ということにこだわり、不当処分を策動してきたということは、80年代に向って、動労千葉の闘いが体制的危殆下の支配階級の根幹を揺がす脅

威として存在していることの何よりの証左である。

この不当処分攻撃という形で現出された動労千葉に対する弾圧は、誰が、誰が、当局の武装親衛隊であり、誰が、誰が、当局と階級的に闘っているのか、ということは何よりも鮮明に突き出し、「本部」反動暴力分子のテマ宣伝の裏態が、またひとつ、具体的事実をもって暴露されたことを示している。

### 「自前の労働運動」創出の出発点

才一回支部代方針を全支部における活発な討論をもって全体化し、取場・生産点からあらゆる英知を結集した闘いを創り出し、不当処分攻撃をはね返してゆく。

この不当処分粉碎の闘いは、結成↓公労委認知↓二波のスト↓才三回大会という動労千葉の闘いの勝利の上に、「80年代に」用する自前の労働運動」を創り出してゆく出発点の闘いである。この闘いの勝利をもって、動労千葉の35万人体制粉碎・三里塚ジェット闘争勝利の突破口を切り拓いてゆく。

動労千葉10大ニュース  
才3位(53%)ノ貫徹

動労千葉10大ニュース  
才3位(53%)ノ貫徹

貫徹 結集

(木更津・検修係・21才)

「本部」の報よなスト破壊攻撃をうち破つてストをやめた中に、動労千葉の鉄道の意志と団結力をみた。……」